

# スーパーマーケット景気動向調査

## 2014年12月調査結果(11月実績)

### (12月22日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

#### 【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

#### 【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ  
tokei@super.or.jp

# 12月調査（11月実績）結果概況

## 景気判断DIは現状・見通し判断共に3ヵ月連続で下落

11月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-1.7の42.6、見通し判断前月から-1.5の39.8と共に下落し、小幅ながら9月から3ヵ月連続の下落となった。

経営動向調査結果では、売上高DIが-4.0（前月比-1.7）、収益DIは0.4（前月比-3.0）となり共に前月よりやや下降した。青果相場の大幅な下落により生鮮仕入原価DIが下降し、販売価格や客単価DIが下降したことの影響が大きい。来客数は依然として改善の動きをみせていない。

カテゴリ動向結果では、青果DIが相場安により-20.8（前月比-12.2）と大きく下落した。畜産DIは引き続き19.8（前月比-1.2）と引き続き好調であり、水産DIも6.8と好調を維持している。惣菜はプラスを維持し、日配は前月と変わらず、一般食品は緩やかに回復して-8.0（前月比+3.0）とやや持ち直しをみせている。

11月は前年に比べて、3連休が2回と休日が一回多くなったが、景況感調査では現状判断、見通し判断ともに小幅ながらすべてのDIが前月より悪化している。消費税率引き上げ以後のゆるやかな回復傾向は上昇力を失っており、景況感には悲観的な見通しが増加している。12月はスーパーマーケットにとって重要な月であり、その動向に注目したい。

### 景況感調査

現状判断			
景気判断DI 当月：42.6 (-1.7) 前月：44.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：44.3 (-1.5) 前月：45.8	消費者購買意欲DI 当月：42.8 (-1.7) 前月：44.5	周辺地域 競合状況DI 当月：41.0 (-1.2) 前月：42.2
見通し判断			
景気判断DI 当月：39.8 (-1.5) 前月：41.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：43.2 (-2.2) 前月：45.4	消費者購買意欲DI 当月：41.5 (-1.8) 前月：43.3	周辺地域 競合状況DI 当月：38.9 (-0.6) 前月：39.5

### 経営動向調査

経営状況	
売上高DI 当月：-4.0 (-1.7) 前月：-2.3	収益DI 当月：0.4 (-3.0) 前月：3.4
販売価格DI 当月：5.9 (-1.8) 前月：7.7	客単価DI 当月：3.3 (-3.0) 前月：6.3
来客数DI 当月：-11.2 (+0.5) 前月：-11.7	生鮮仕入原価DI 当月：5.7 (-4.8) 前月：10.5
	食品仕入原価DI 当月：10.6 (+0.6) 前月：10.0

カテゴリ動向			
青果DI 当月：-20.8 (-12.2) 前月：-8.6	水産DI 当月：6.3 (+0.6) 前月：5.7	畜産DI 当月：19.8 (-1.2) 前月：21.0	
惣菜DI 当月：7.2 (-2.3) 前月：9.5	日配DI 当月：-5.3 (-0.2) 前月：-5.1	一般食品DI 当月：-8.0 (+3.0) 前月：-11.0	非食品DI 当月：-13.9 (+0.9) 前月：-14.8

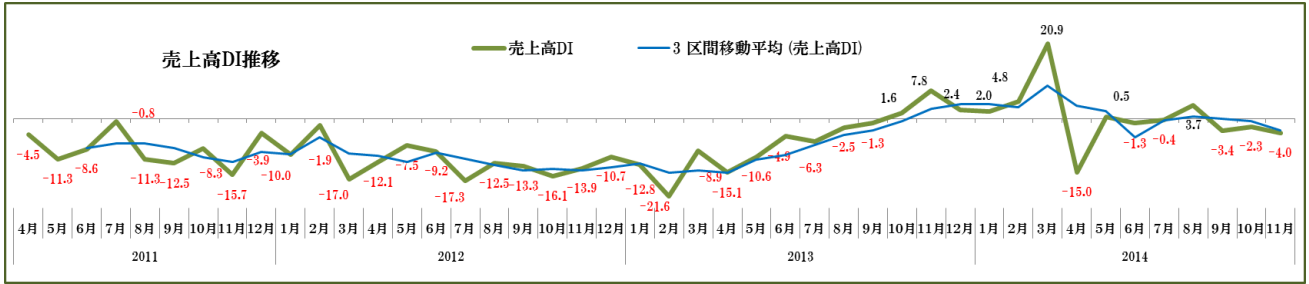
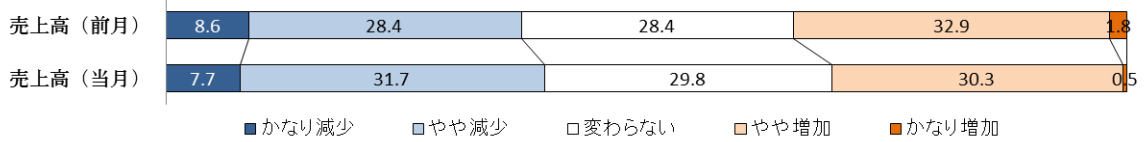
( ) 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

# 12月調査（11月実績）結果詳細

## 1. 経営動向調査

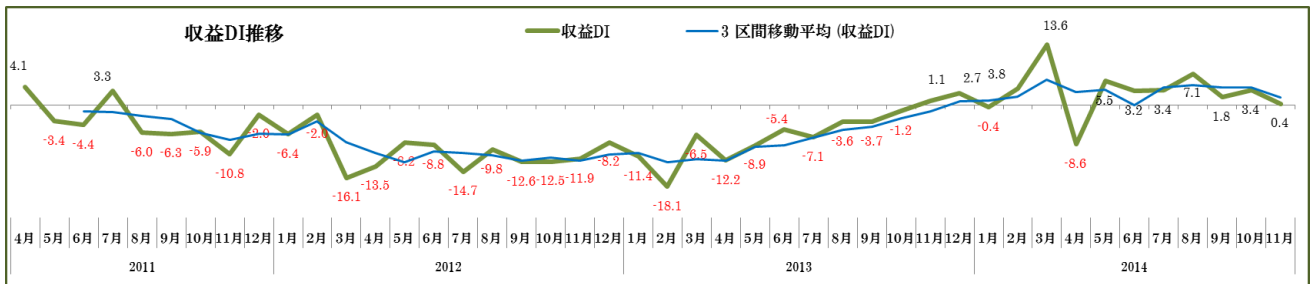
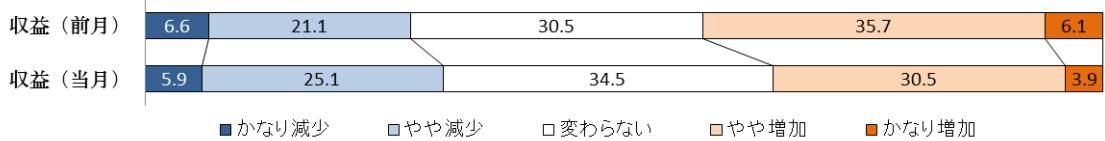
### ①売上高 DI

3ヵ月連続のマイナスで下降トレンド



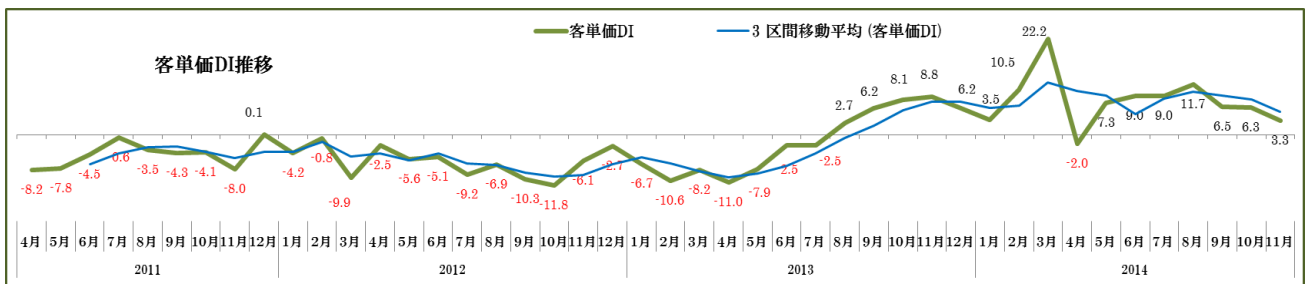
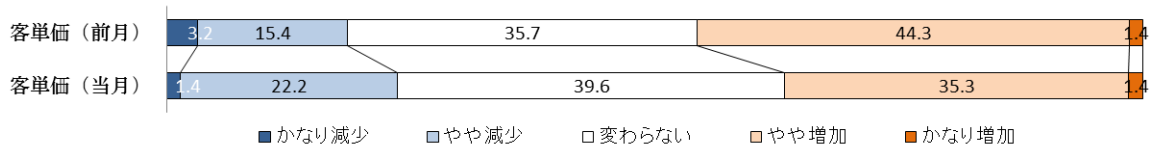
### ②収益 DI

7か月連続でプラスを維持も直近は弱含み傾向



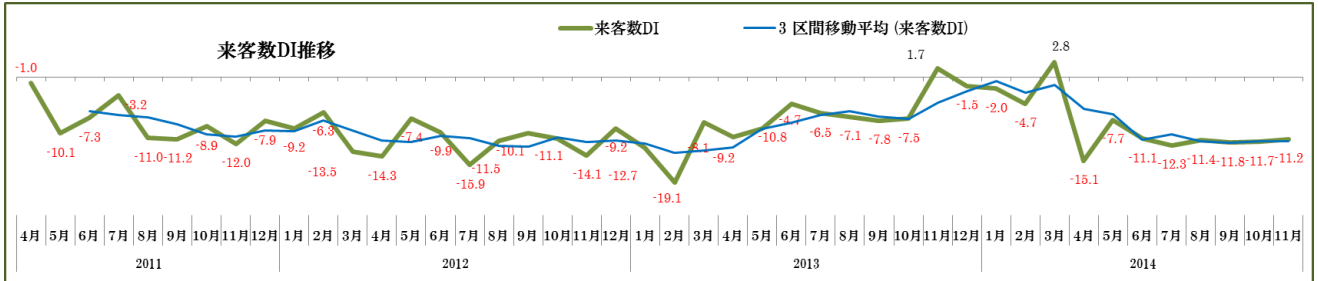
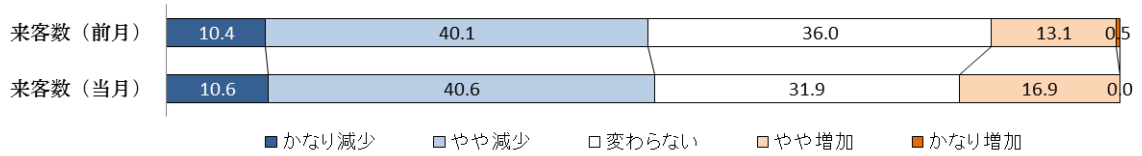
### ③客単価 DI

7か月連続でプラスを維持も直近は弱含み傾向



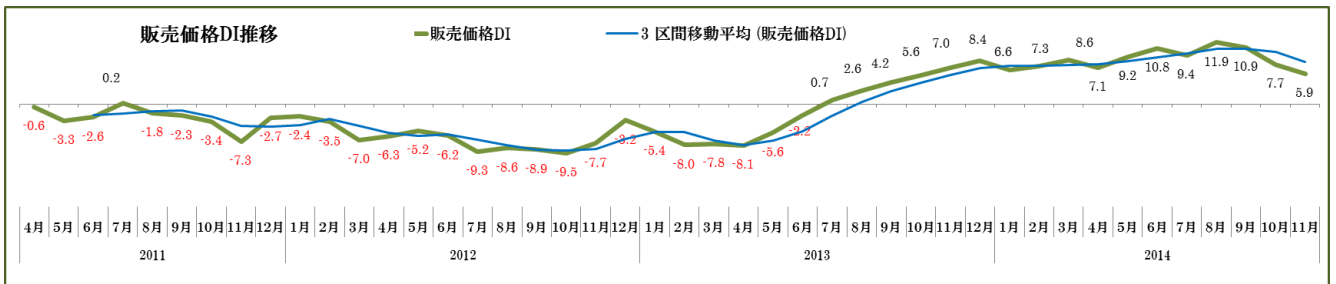
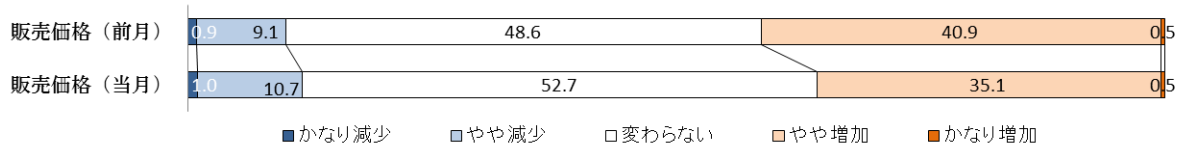
#### ④来客数 DI

6ヵ月連続で二桁のマイナスが続く



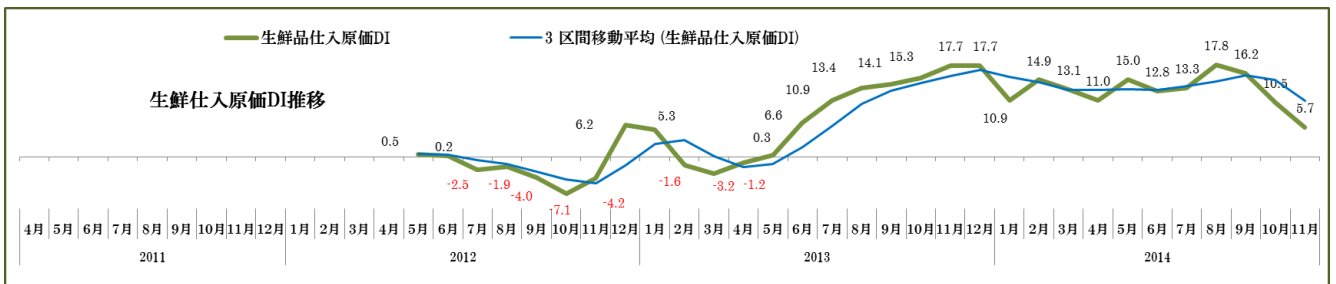
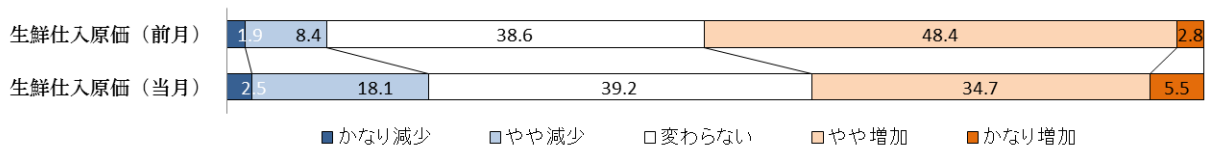
#### ⑤販売価格 DI

8月をピークに下降トレンド



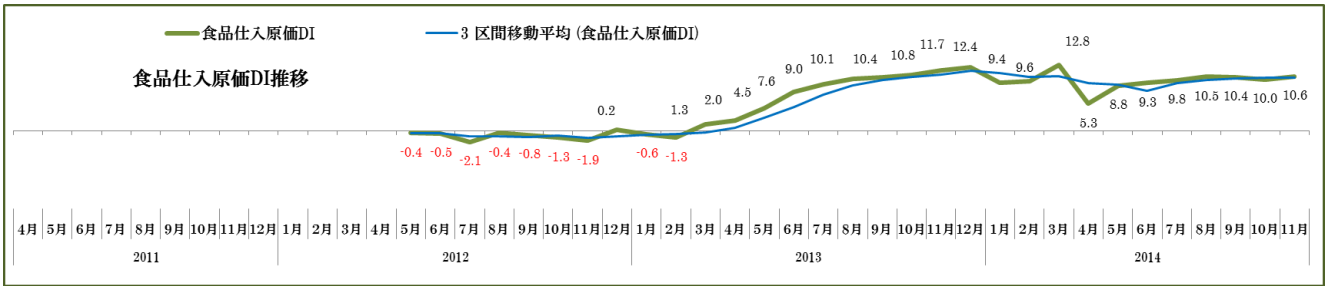
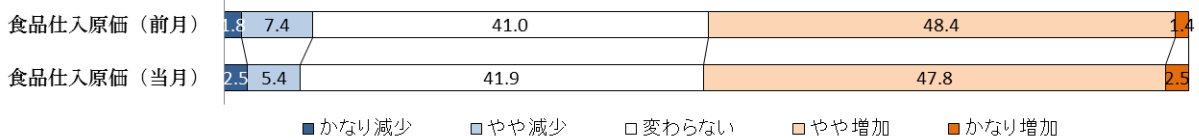
#### ⑥生鮮仕入原価 DI

8月をピークに下降トレンド



## ⑦食品仕入原価 DI

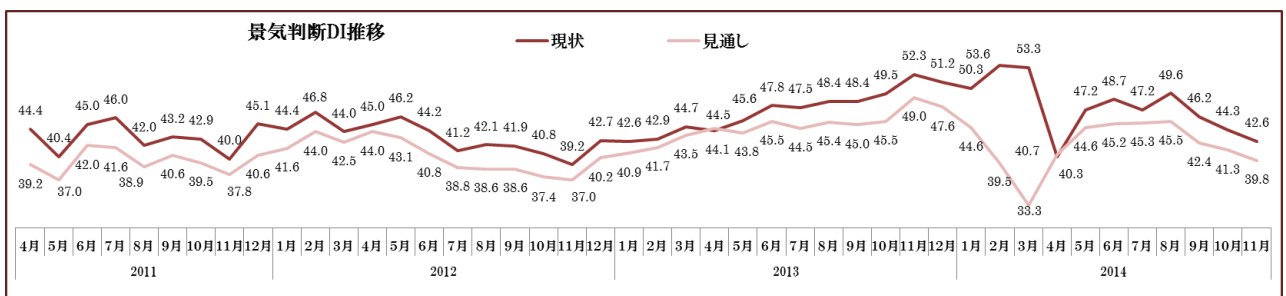
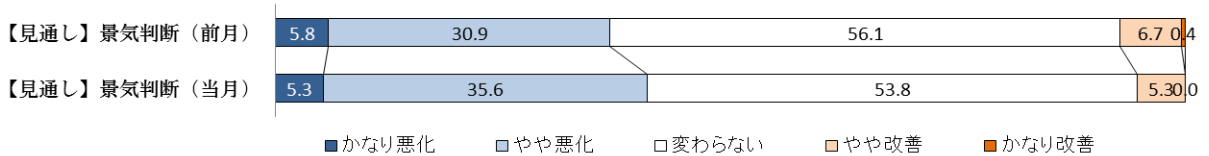
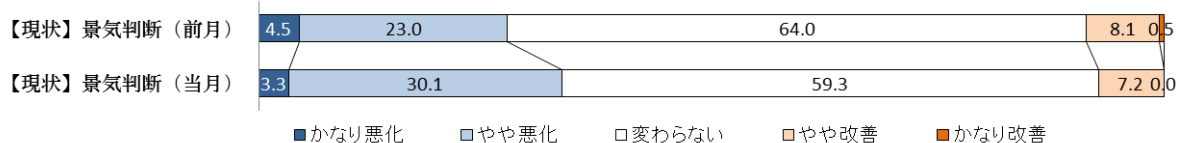
高水準で横ばい推移が継続



## 2. 景況感調査

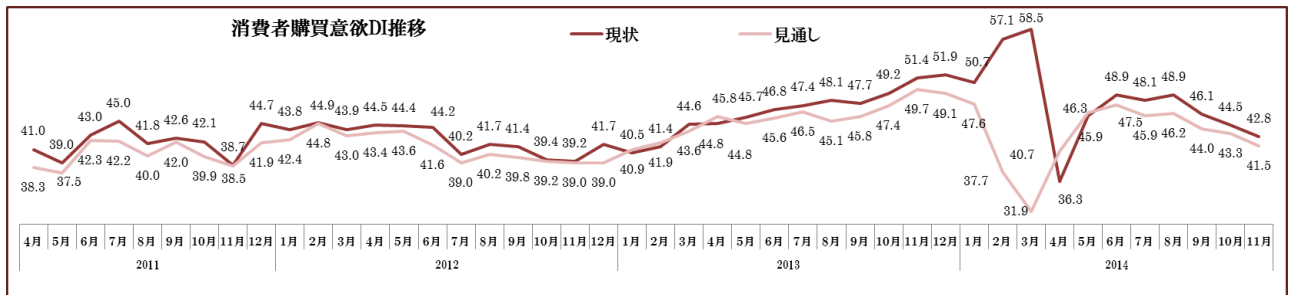
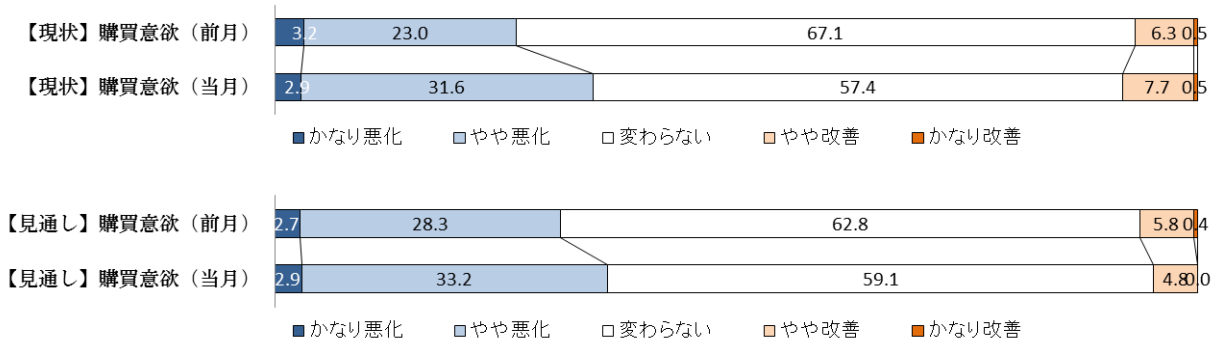
### ①景気判断 DI

現状、見通し共に3ヵ月連続の下降でやや弱含み



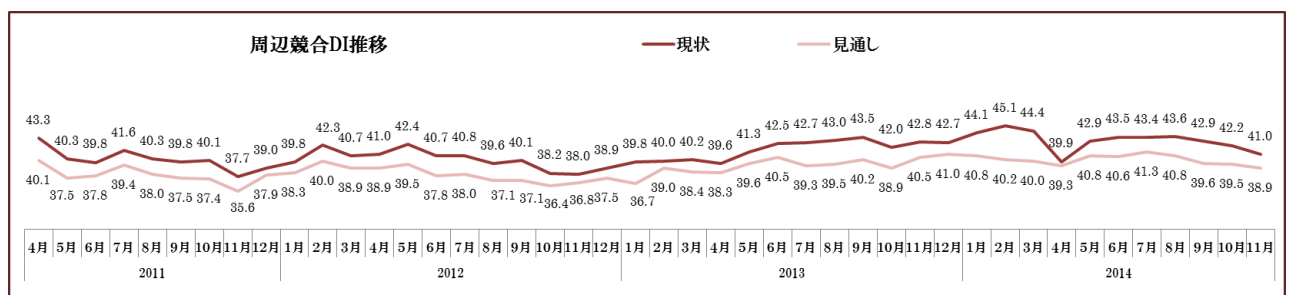
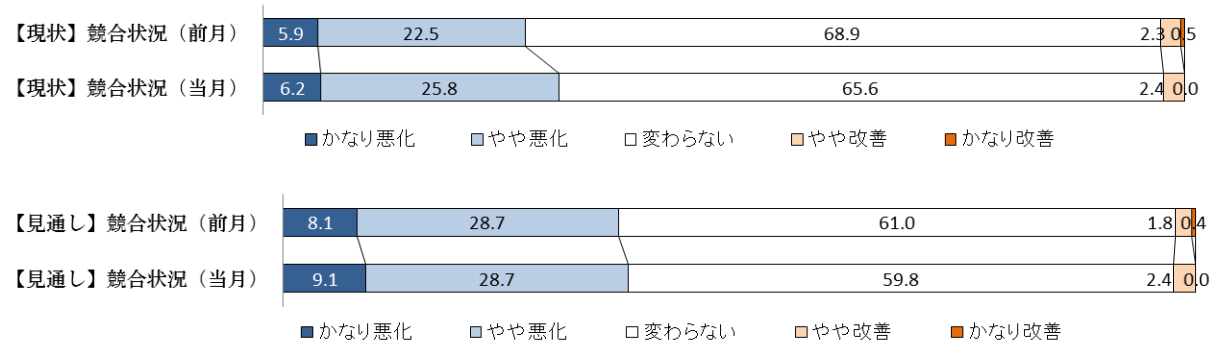
## ②消費者購買意欲 DI

現状、見通し共に3ヵ月連続の下降でやや弱含み



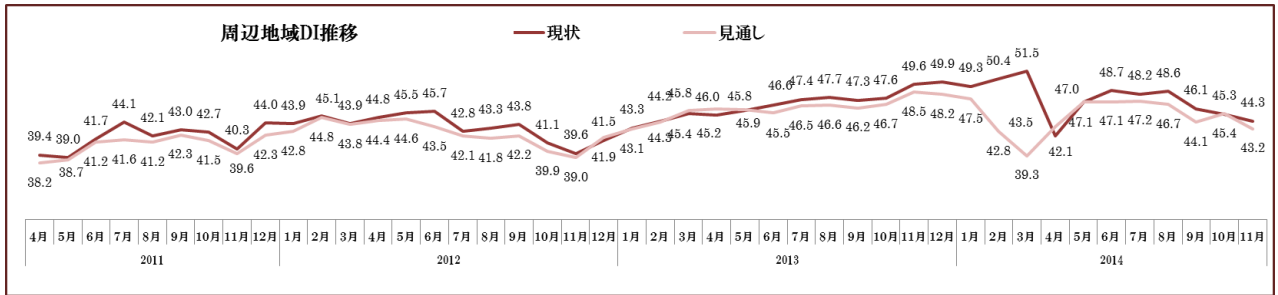
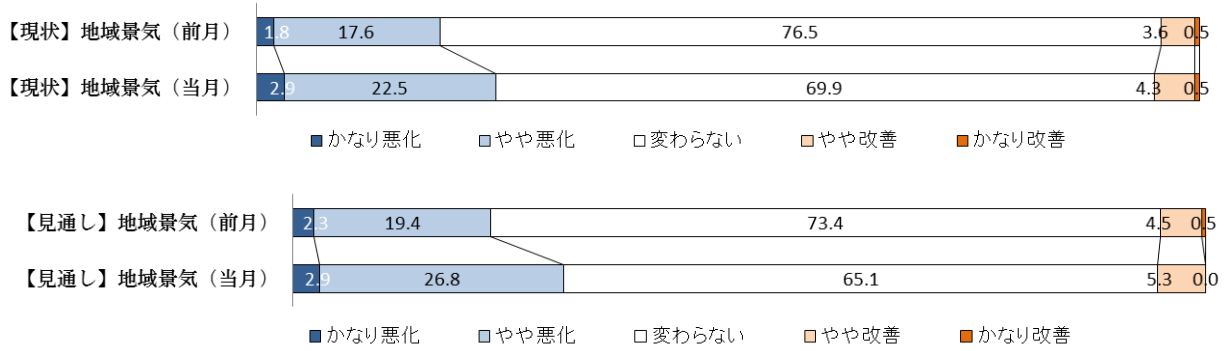
## ③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



#### ④周辺地域景気判断 DI

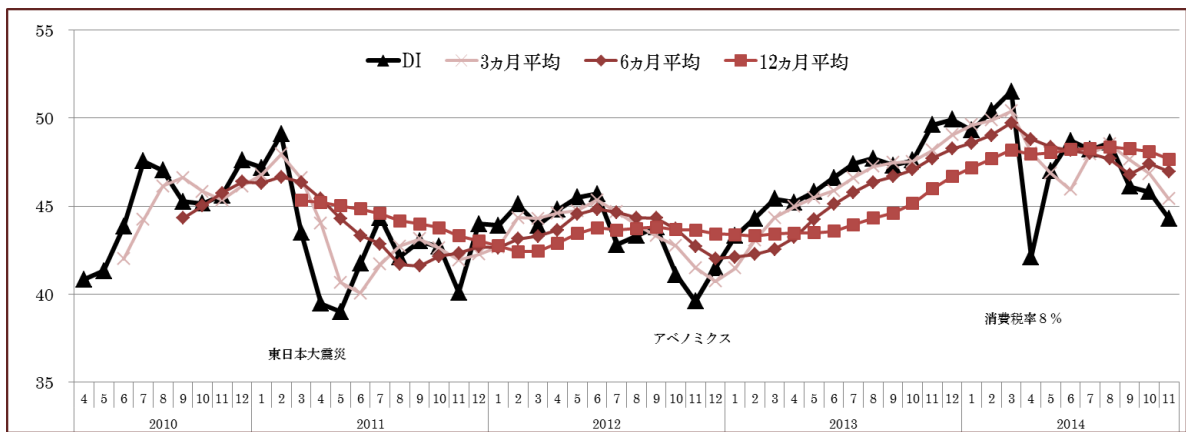
現状判断、見通し判断ともやや弱含みで推移



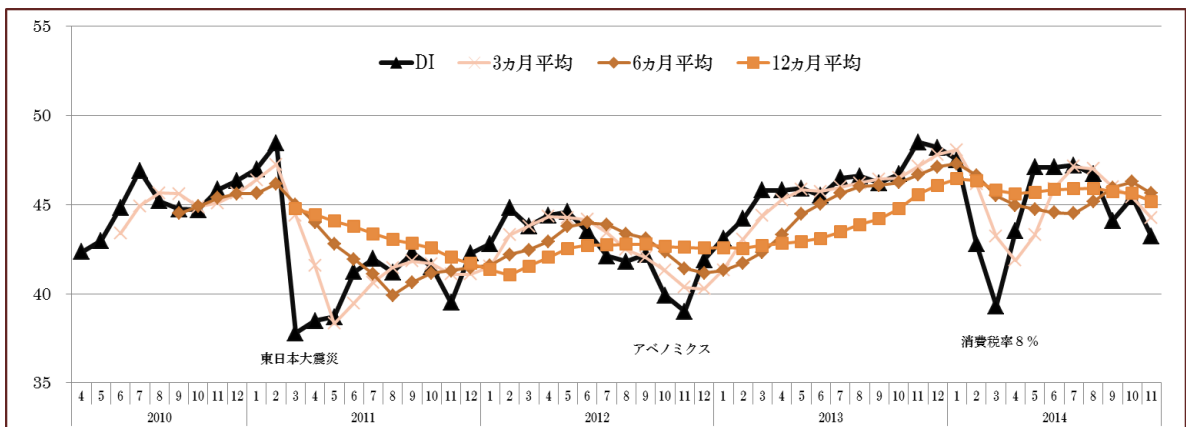
#### 長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

現状判断 DI は、消費税率引き上げの影響を受け下落し、その後6月～8月は横ばい推移、9月～12月まで連続で下降したため、すべての平均線が下降方向に推移となった。また単月、3ヵ月、6ヵ月いずれも12ヵ月平均線を下回る推移が続いており、下降トレンド入りしている。見通し判断 DI も同様の傾向であり下降トレンド入りしているとみられる。

##### 現状判断（中長期傾向）



##### 見通し判断（中長期傾向）



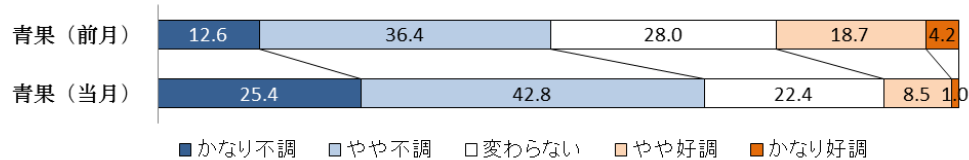
### 3.カテゴリー別動向

#### DIによる好不調判断

**かなり好調**:20 以上      **好調**:10~20      **やや好調**:0~10  
**かなり不調**:-20 以下      **不調**:-20~-10      **やや不調**:-10~0

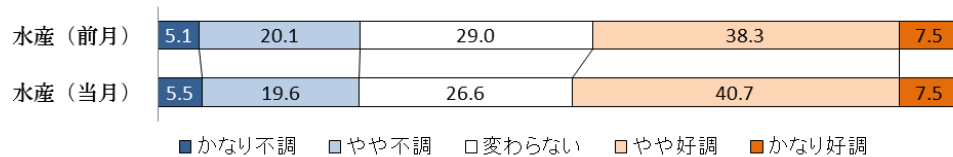
#### 【青果】かなり不調 DI:-20.8

青果相場の大幅な相場安に加え、果物相場も相場安も重なったことで単価が下落し、数量が伸びなかったことでかなり不調となった。その他、みかんの不調を指摘するコメントが多くみられた。



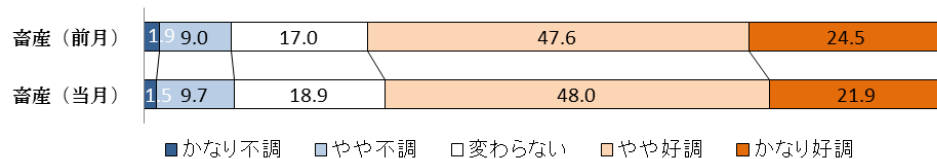
#### 【水産】やや好調 DI:6.2

相場高を追い風に、売上構成比の高いマグロなどが好調とのコメントが多く、やや好調となったさんまやブリなどの鮮魚が好調、塩干やすり身の不調を指摘するコメントがみられた。



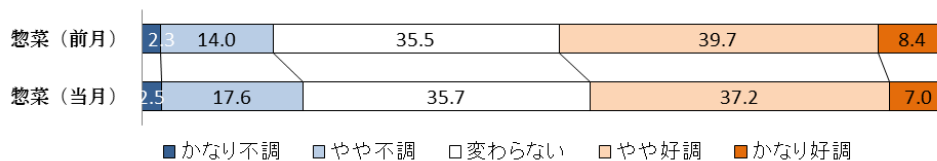
#### 【畜産】好調 DI:19.8

牛豚鶏肉の相場高に加え、前年より日曜日が多いことで内食需要（ステーキやすき焼き、鍋物）が高まり国産牛肉や豚肉が好調とのコメントが多く、かなり好調となった。



#### 【惣菜】やや好調 DI:7.2

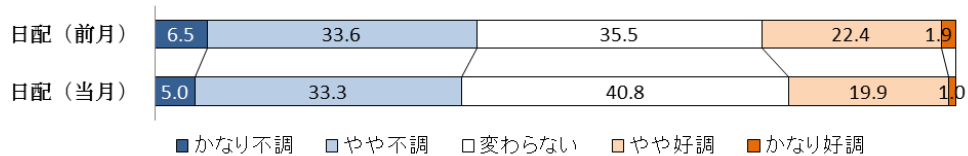
祝日、三連休、七五三の需要によりやや好調となった。気温が上昇したことで寿司が好調とのコメントが多くみられた。一方で客数の伸び悩みや競争により伸び悩んだとのコメントもみられた。





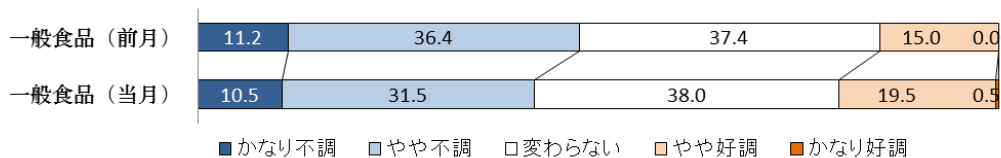
【日配】**やや不調** DI: **-5.3**

ボジョレーヌーボー解禁の影響で乳製品が好調、またヨーグルト類が好調とのコメントが多く寄せられた。地域の気温により鍋商材の好不調、パン類の好不調は分かれているほか、品薄のバター類についても好調と不調のコメントに分かれた。



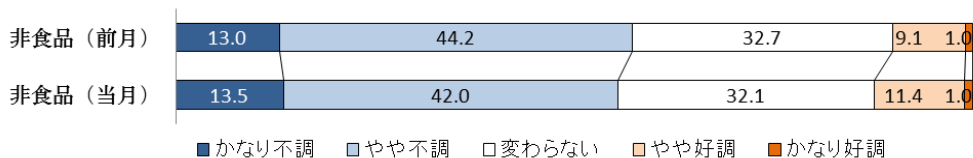
【一般食品】**やや不調** DI: **-8.0**

酒類が好調や米の単価下落による苦戦の指摘が多かった。その他の一般食品は地域の気温により好不調があるものの、全体的にはゆるやかな回復を指摘するコメントが多かった。一方で競合により価格競争により利益の確保が難しいとの声も多い。



【非食品】**不調** DI: **-13.9**

平年より高い気温の影響で冬物衣料の不振の指摘が多かった。他業態との競合、特にドラッグストアとの競合により不調とのコメントが多く寄せられた。



2014年11月キーワードTOP3

1. 青果相場安
2. 気温上昇
3. 前月より休日が一日多い(3連休2回)

スーパーマーケット景気動向調査

- 11月実績速報版集計223社
- 10月実績確報版集計209社